

二十一世紀「東洋思想の原点」

川田 洋一

北京大学池田大作研究所と東洋哲学研究所の共同主催による日中シンポジウムが、かくも盛大に行われる運びとなりましたことに、心よりお礼を申し上げます。各専門家の方々の出席を得て、「東洋思想」の包含する深遠な「精神性」と人類への限らない「貢献性」が活発に語り合われることを期待しております。

さて、私は、今回のシンポジウムにあたり、創価学会インタナショナルの池田会長のメッセージをお預かりしてきておりますので、ご紹介をさせていただきますが、その前に、当研究所の行っている活動内容について若

干の解説をさせて頂きたいと思います。

当研究所は、一九六一年年二月、SGI会長がインドにおける釈尊成道の地ブッダガヤを訪問した折りに構想され、翌六二年に設立されました。

設立の意義と構想としては

- ① 東洋の宗教、思想、文化、伝統の研究
- ② 「法華経」を中心とした研究
- ③ 仏法の人間主義、平和主義を展開し、「人類的課題」に挑戦

の三点があげられます。ここに明記されているように、

東洋の宗教・思想をもとに、人類平和・幸福のために貢献することが、当研究所の設立意義であります。

その目的のために研究所としては、次の三部門を開いております。

第一には、「法華経」の研究を中心とした部門です。「法華経」の文献学的、思想的 research から、その歴史をたどりつつ中国仏教における天台学、日本の日蓮仏教等を包含しています。

第二には、仏教と他の宗教、特に、儒教、道教、ヒンズー教との「対話」並びにキリスト教、イスラム教、ユダヤ教の「対話」を行う部門です。この分野では、必然的に平和、環境、倫理等が焦点となってまいります。

第三には、第一と第二の部門を総合しつつ、創価思想へと展開しております。この部門には、牧口初代会長の「法華経」「創価教育学」、戸田二代会長の「生命論」が含まれます。そして池田SGI会長の「人間論」「生死論」「仏法論」から「文明論」「平和論」「環境論」に学び、人類的課題を乗り越えながら人類の平和と幸

福へと役立てることを目指しております。

今回のシンポジウムには、これらの各部門から「人間論」「女性論」「文明論」を掲示させて頂くことになっております。

それでは、SGI会長のメッセージをご紹介します。いただきます。

(かわだ よういち／東洋哲学研究所所長)